

經濟情報： 日銀短觀(2022年6月調査)

2022年7月1日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

1. 要旨

- 日銀短観6月調査は、企業の景況感については製造業で悪化、非製造業では改善と業種ごとにばらつきがあるものの、好調な企業収益を背景として企業の設備投資意欲については全体的に高まっていることを示す結果に。
- 大企業の「最近」の業況判断DI(「良い」-「悪い」社数構成比)は、製造業は前回調査比▲5%ポイントの9%ポイント、非製造業は同+4%ポイントの13%ポイント。製造業は半導体等の供給制約や国際商品市況高騰の影響等で悪化したものの、非製造業は各種制限措置緩和に伴う人流回復により対面サービスを中心に改善。
- 国際商品市況の高止まりはこの先も景気の下押し圧力となるものの、中国の都市封鎖解除に伴う供給制約の緩和や感染状況の落ち着きを受けた経済活動正常化の動きが景気回復を下支えするとみられる。但し、ウクライナ情勢のさらなる悪化や世界的な金融引き締めに伴う海外の景気減速懸念など先行きの不透明感は強く、景気下振れリスクには注意を要する。

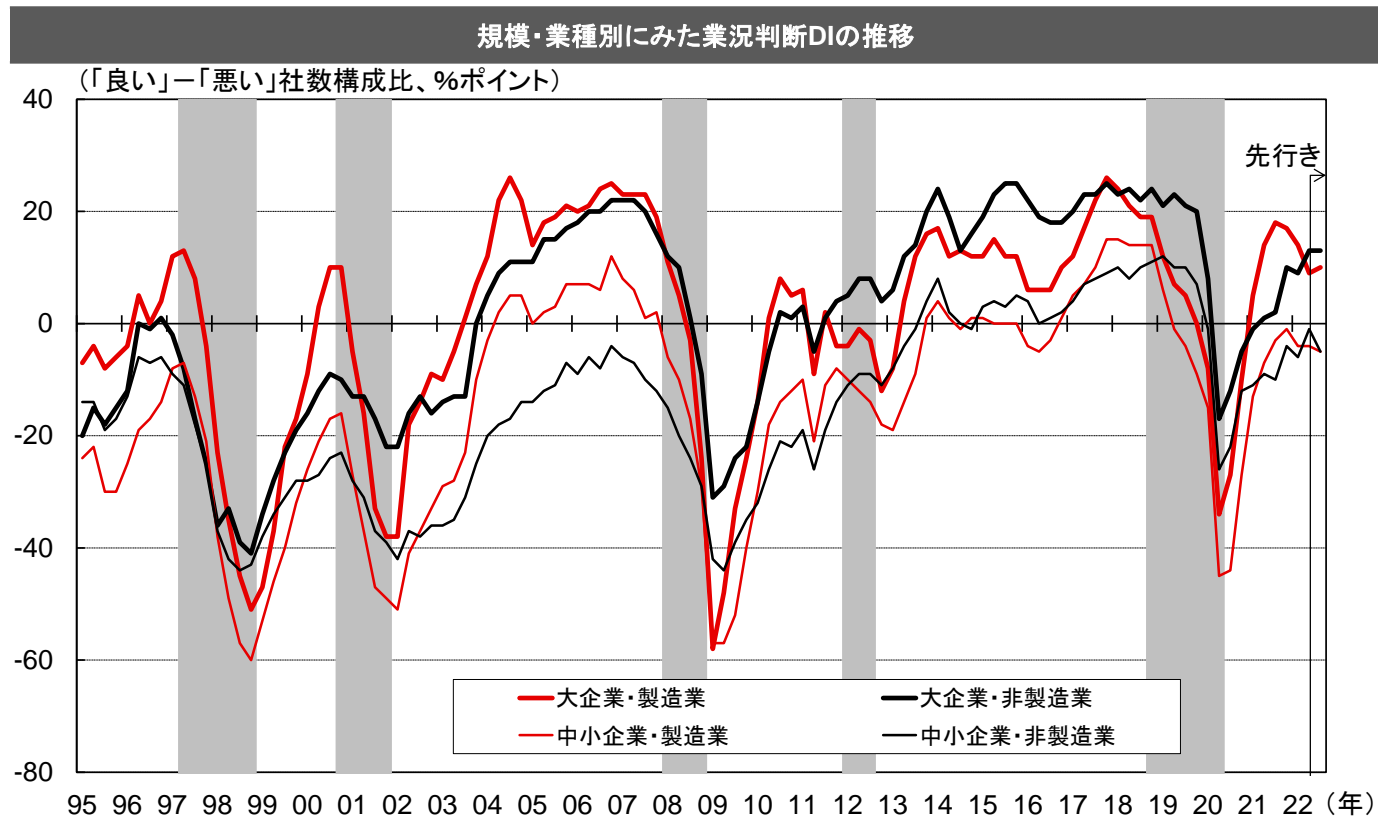
日銀短観の主な調査項目の推移

	企業規模	業種	2021年 9月調査	2021年 12月調査	2022年 3月調査	2022年 6月調査	変化幅 (修正率)
「最近」の業況判断DI (「良い」-「悪い」社数構成比、 %ポイント)	大企業	全産業	10	14	11	11	±0
		製造業	18	17	14	9	▲5
		非製造業	2	10	9	13	+4
	中小企業	全産業	▲8	▲3	▲6	▲2	+4
		製造業	▲3	▲1	▲4	▲4	±0
		非製造業	▲10	▲3	▲6	▲1	+5
経常利益計画(前年度比、%)	全規模	全産業、2021年度	15.0	28.0	32.0	42.7	(+8.1)
		全産業、2022年度	—	—	▲0.9	▲3.6	(+5.1)
設備投資計画(前年度比、%)	大企業	全産業、2021年度	1.4	▲1.2	5.9	▲2.3	(▲7.7)
		全産業、2022年度	—	—	3.0	18.6	(+7.1)

(注)『設備投資計画』は、含む土地、除くソフトウェアベース。
(資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 業況判断DI ①全体

- 大企業・製造業の業況判断DIは、前回調査比▲5%ポイントの9%ポイントと悪化。中国での都市封鎖の影響を含む供給制約や国際商品市況高騰の影響で「鉄鋼」では同▲16%ポイントの▲6%ポイント、「自動車」は同▲4%ポイントの▲19%ポイント等素材業種・加工業種ともに業況感が悪化。他方、大企業・非製造業は同+4%ポイントの13%ポイントと改善。感染状況の落ち着きを受けた経済活動正常化の動きを映じ、「宿泊・飲食サービス」は同+25%ポイントの▲31%ポイント、「対個人サービス」は同+32%ポイントの18%ポイント等業況が改善。
- 大企業の業況判断DIの3ヵ月後の見通しは、製造業は小幅に改善、非製造業は横這い。製造業では、国際商品市況の高止まりにより「化学」等で悪化も、「自動車」は供給制約の緩和に伴い回復する見通し。非製造業では、個人消費回復の継続を背景に、「宿泊・飲食サービス」や「対個人サービス」で改善継続が見込まれているものの、「卸売」等は慎重な見方。



(注) 網掛け部分は景気後退期間。2018年10-12月期から2020年4-6月期は暫定で設定。

(資料) 日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 業況判断DI ②業種別

業種別にみた業況判断DI

(「良い」-「悪い」社数構成比、%ポイント)

大企業 製造業	2022年3月調査		2022年6月調査			
	最近	先行き	最近	(変化幅)	先行き	(変化幅)
製造業全体	14	9	9	(▲5)	10	(1)
繊維	0	▲6	▲10	(▲10)	▲7	(3)
木材・木製品	20	0	0	(▲20)	▲13	(▲13)
紙・パルプ	▲3	▲11	▲7	(▲4)	▲11	(▲4)
化学	28	16	24	(▲4)	17	(▲7)
石油・石炭製品	27	7	20	(▲7)	0	(▲20)
窯業・土石製品	0	▲7	4	(4)	▲7	(▲11)
鉄鋼	10	▲10	▲6	(▲16)	3	(9)
非鉄金属	21	15	15	(▲6)	18	(3)
食品	▲5	▲6	▲11	(▲6)	▲9	(2)
金属製品	3	0	3	(0)	0	(▲3)
はん用機械	31	30	20	(▲11)	21	(1)
生産用機械	43	36	34	(▲9)	36	(2)
業務用機械	22	13	22	(0)	20	(▲2)
電気機械	24	24	23	(▲1)	27	(4)
造船・重機等	▲23	▲19	▲19	(4)	▲19	(0)
自動車	▲15	▲1	▲19	(▲4)	▲5	(14)

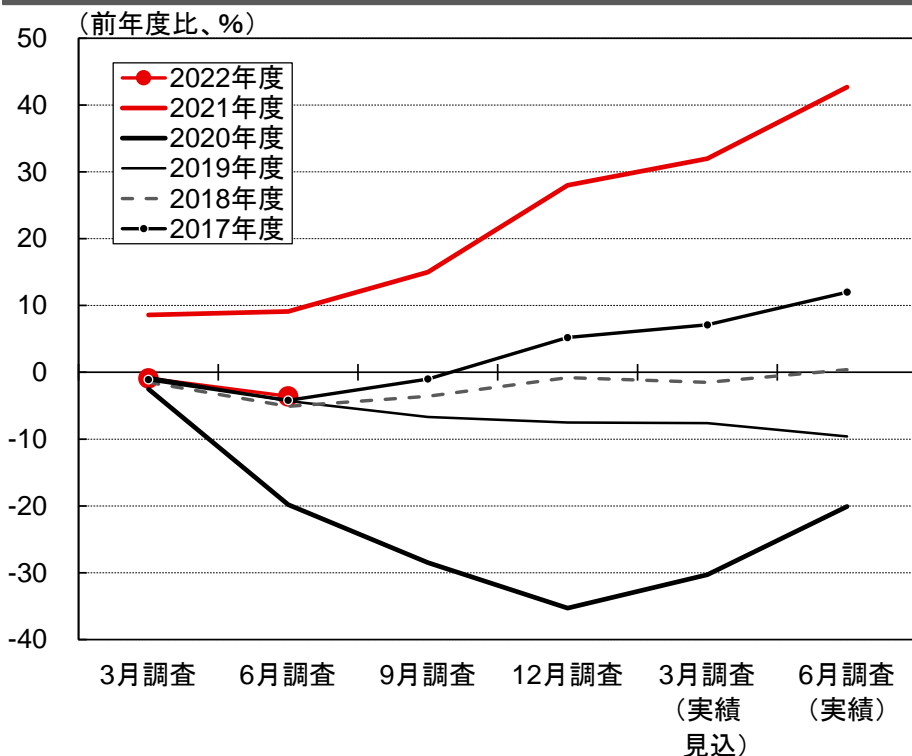
大企業 非製造業	2022年3月調査		2022年6月調査			
	最近	先行き	最近	(変化幅)	先行き	(変化幅)
非製造業全体	9	7	13	(4)	13	(0)
建設	14	8	11	(▲3)	13	(2)
不動産	20	21	22	(2)	22	(0)
物品賃貸	23	17	23	(0)	20	(▲3)
卸売	20	8	20	(0)	14	(▲6)
小売	2	5	7	(5)	5	(▲2)
運輸・郵便	▲2	▲1	9	(11)	2	(▲7)
通信	27	27	14	(▲13)	21	(7)
情報サービス	38	29	37	(▲1)	34	(▲3)
電気・ガス	▲13	▲12	▲11	(2)	▲15	(▲4)
対事業所サービス	38	22	35	(▲3)	35	(0)
対個人サービス	▲14	2	18	(32)	27	(9)
宿泊・飲食サービス	▲56	▲38	▲31	(25)	▲18	(13)
中小企業	2022年3月調査		2022年6月調査			
	最近	先行き	最近	(変化幅)	先行き	(変化幅)
製造業全体	▲4	▲5	▲4	(0)	▲5	(▲1)
非製造業全体	▲6	▲10	▲1	(5)	▲5	(▲4)

(注)1. 『最近』の「変化幅」は、直近調査の最近判断DIから前回調査の最近判断DIを引いたもの。
 2. 『先行き』の「変化幅」は、直近調査の先行き判断DIから直近調査の最近判断DIを引いたもの。
 (資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 経常利益計画、設備・雇用判断DI

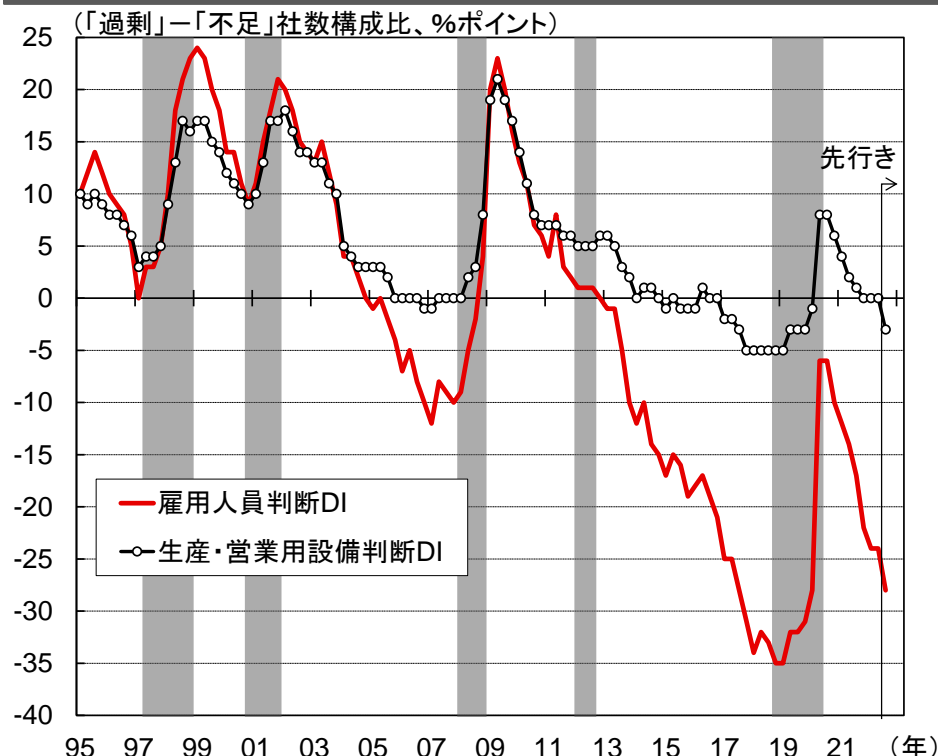
- 2022年度の経常利益計画は全規模・全産業ベースで前年度比▲3.6%と小幅に減少する計画となっているものの、前回調査からの経常利益計画の修正率は+5.1%と上方修正されており、景気回復を背景に企業収益は堅調を維持することが見込まれている(2021年度の経常利益実績は同+42.7%と大幅に増加)。
- 全規模・全産業ベースでみた、設備ストックの過不足感を表す生産・営業用設備判断DI(「過剰」-「不足」社数構成比)は0%ポイント(前回調査比±0%ポイント)ながら、3ヵ月後の見通しでは▲3%ポイントの「不足」超を見込む。雇用の過不足感を示す雇用人員判断DI(同)については▲24%ポイント(同±0%ポイント)と、コロナ禍前の水準に比べ依然高いものの、3ヵ月後の見通しは▲28%ポイントと、景気回復が続く中で雇用の不足感はコロナ禍以前の状況に復しつつある。

全規模・全産業の経常利益計画の推移



(資料) 日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

全規模・全産業の生産・営業用設備判断DIと雇用人員判断DIの推移



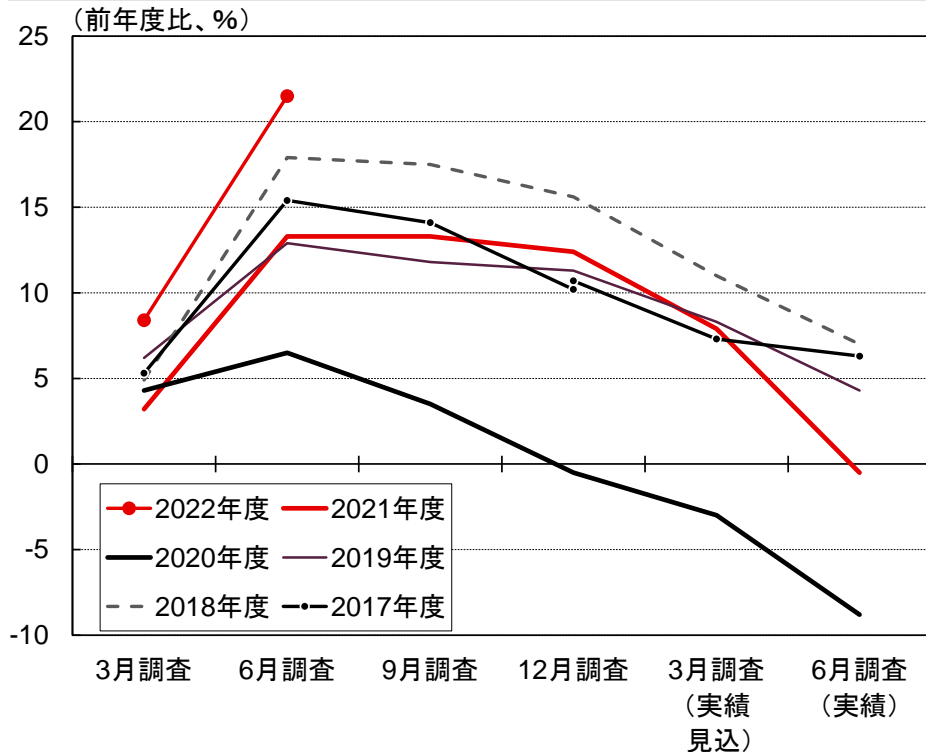
(注) 網掛け部分は景気後退期間。2018年10-12月期から2020年4-6月期は暫定。

(資料) 日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 設備投資計画

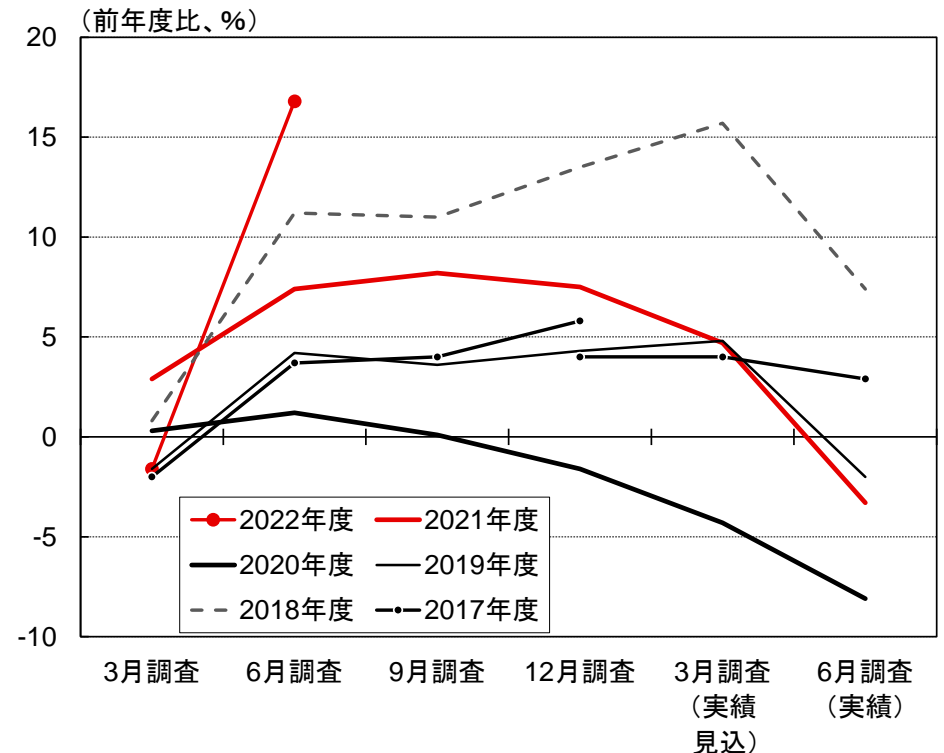
- 2022年度の設備投資計画(含む土地、除く研究開発・ソフトウェア)は大企業・全産業ベースで前年度比+18.6%と、好調な企業収益を背景として前回調査(同+2.2%)から大幅に上方修正された(2021年度の設備投資実績は、大企業・全産業ベースで同▲2.3%と、前回調査(同+5.9%)を下回る水準で着地)。
- 2022年度の設備投資計画を業種別にみると、製造業では同+21.5%(前回調査:同+8.4%)、非製造業では同+16.8%(前回調査:同▲1.6%)と、国内外の景気回復に伴う企業利益の改善を受け高めの伸びを見込む。

大企業・製造業の設備投資計画の推移



(注)含む土地、除く研究開発・ソフトウェアベース。
(資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

大企業・非製造業の設備投資計画の推移



(注)含む土地、除く研究開発・ソフトウェアベース。
(資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：松井奈々 e-mail:nana_matsui@mufg.jp
長谷川 裕輝 e-mail:yuuki_4_hasegawa@mufg.jp